

地区名 山の手地区

<p>今年度の取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉懇談会（5/31、1/30） ・今後の取り組みについての打ち合わせ（8/23）</li> <li>・矢代田小学校4年生総合学習（高齢者にインタビュー6/15） ・福祉視察研修（7/11）</li> <li>・防災視察研修（8/8） ・山の手ふれあいまつり（9/23） ・支え合い講演会（11/26）</li> <li>・支え合いのしくみづくり周知（10/11 矢代田公会堂茶の間、10/19 いこてばこいてばふれあい会館、11/24 松ヶ丘さくら会）</li> <li>・ワンコインこいてば酒場（7/29、9/30、11/26） ・舟戸1.2自治会防災打ち合わせ（9/28、1/26）</li> <li>・歳末ふれあい弁当配食事業（12/13 打ち合わせ、12/23 訪問、1/24 反省会）</li> </ul>
<p>課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業に固定の参加者だけでなく、自治会やサークル等新しい方の参加がないと支え合いが広がっていない。</li> <li>・茶の間（いこてばこいてばふれあい会館）では、参加者が高齢になってきており、小学生との交流の対応が難しいところが出てきている。また、免許返納等で来れなくなる人もいるが、そのような人たちこそ来てほしい人であり、継続的に来てもらえる手段を考えていきたい。</li> <li>・自治会へ防災の取り組みを広めていくことが難しい。有事の際は安否確認が必要となる。</li> <li>・コロナ禍を経て、学校行事等が戻ってきている中で、ふれあいまつりの子どもたちの関わり方が今までと同じままだと子どもたちに負担がかかってしまう。</li> <li>・多面的な要望が多く、取り組むべきものが増えているが、整理が必要である。また、ひとりの人に負担がかからないよう、みんなが応援するスタイルを考えていかなければならない。</li> </ul>
<p>評価</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支え合い講演会を開催し、数は少ないが新しい方からの参加もあり、さりげない話題から地域の良いところや課題など様々な話を引き出すことができた。</li> <li>・ワンコイン酒場では、幅広い年代の人が集まり、交流の場となっている。今後は、運営方法を検討していく。また、来年度は、少し形を変えて子どもから大人まで誰でも集まれるふれあい（ワンコイン）食堂をやってみたい。</li> <li>・防災学習やふれあいまつりでは、保護者の参加や協力があつたことが大きかった。</li> </ul>
<p>活動の様子</p>	<p>矢代田小4年生総合学習</p> <p>歳末ふれあい弁当打ち合わせ</p> <p>舟戸1.2自治会防災打ち合わせ</p> <p>いこてばこいてばふれあい会館</p> <p>ふれあいまつり</p>
<p>次年度へ向けて</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業等に新しい参加者や活動者を増やし、支え合いを広める</li> <li>・ワンコイン酒場の継続と子どもから参加できるふれあい食堂の検討</li> <li>・地域の茶の間「いこてばこいてばふれあい会館」と小学生の交流の工夫、免許返納後の参加継続のための工夫</li> <li>・地域の茶の間「いこてばこいてばふれあい会館」と連携した助け合い活動である人知笑会の継続</li> <li>・自治会の防災への取り組みの啓発、推進（安否確認の方法、活きた防災訓練）</li> <li>・ボランティアへの参加増から後継者の育成へ</li> <li>・取り組みの整理と負担が偏らない地域総出で手伝えるスタイルの検討</li> </ul>

[参加者] 山の手コミ協：横山会長、保科事務局長、春日事務員

福祉部：五十嵐部長、増井副部長 健康スポーツ部：五十嵐部長

ふれあい事業部：村上部長 防災・防犯部：古泉副部長

秋葉区社協：横山、藤田、吉岡